

準天頂衛星システムにおける研究開発4省の予算概要

(単位:億円)

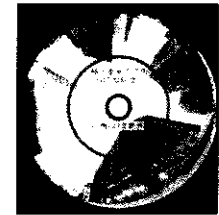
	平成15年度 予算	平成16年度 予算	平成17年度 予算	平成18年度 予算内示額 (概算要求額)
文部科学省	27.0	33.0	33.0	23.5 ※共通経費7億円を含む (33.0)
総務省	15.0	25.4	23.9	15.7 (24.2)
経済産業省	18.9	21.0	23.6	21.8 (23.7)
国土交通省	4.0	5.4	5.9	5.8 (5.7)
合計	64.9	84.8	86.4	66.8 (86.6)

○上記金額は関連予算を含む



準天頂衛星システム

日本付近で常に天頂方向に1機の衛星が見えるように複数の衛星を準天頂軌道に配置した衛星システムにより、山間地、ビル陰等に影響されず、全国をほぼ100%カバーする高品質の通信・放送・測位サービスの提供を実現



研究開発内容・体制

H15 研究開始
H16 開発研究
H18 開発
H20~21 打上げ

国の技術開発・実証

文部科学省

・高精度測位
実験システム

総務省

・高精度衛星測
位技術

経済産業省

・衛星の軽量化・
長寿命化技術
・推進系機器の
高度化技術

国土交通省

・高精度測位の
補正技術
・移動体に対する
高精度測位技術

民の事業化
新衛星ビジネス機
H14.11会社設立
H21 サービスイン

関係機関による連携・適切な分担

準天頂衛星システム開発・利用推進協議会

(関係省庁、関係研究開発機関、民間代表)



システムの成果

- ◎自動車で移動中でも、高層ビルなどの影響によって途切れることのない高速通信網を構築
- ◎GPSの情報を補完・補強*することによる高精度測位を実現
- ◎離島・山間部を含め、広く日本全体を対象としたサービスの提供

*補完(測位補完): GPS互換信号を送信し、GPSとの組み合わせによって、利用可能エリアの拡大や利用可能時間を増加させること。

*補強(測位補強): 基準点で受信したGPS信号の誤差情報やGPS信号の使用可否情報等を送信して、測位の精度の高精度化や高信頼化を図ること。

⇒ **民間活力の活用により、新産業創出等、経済の活性化へ**

